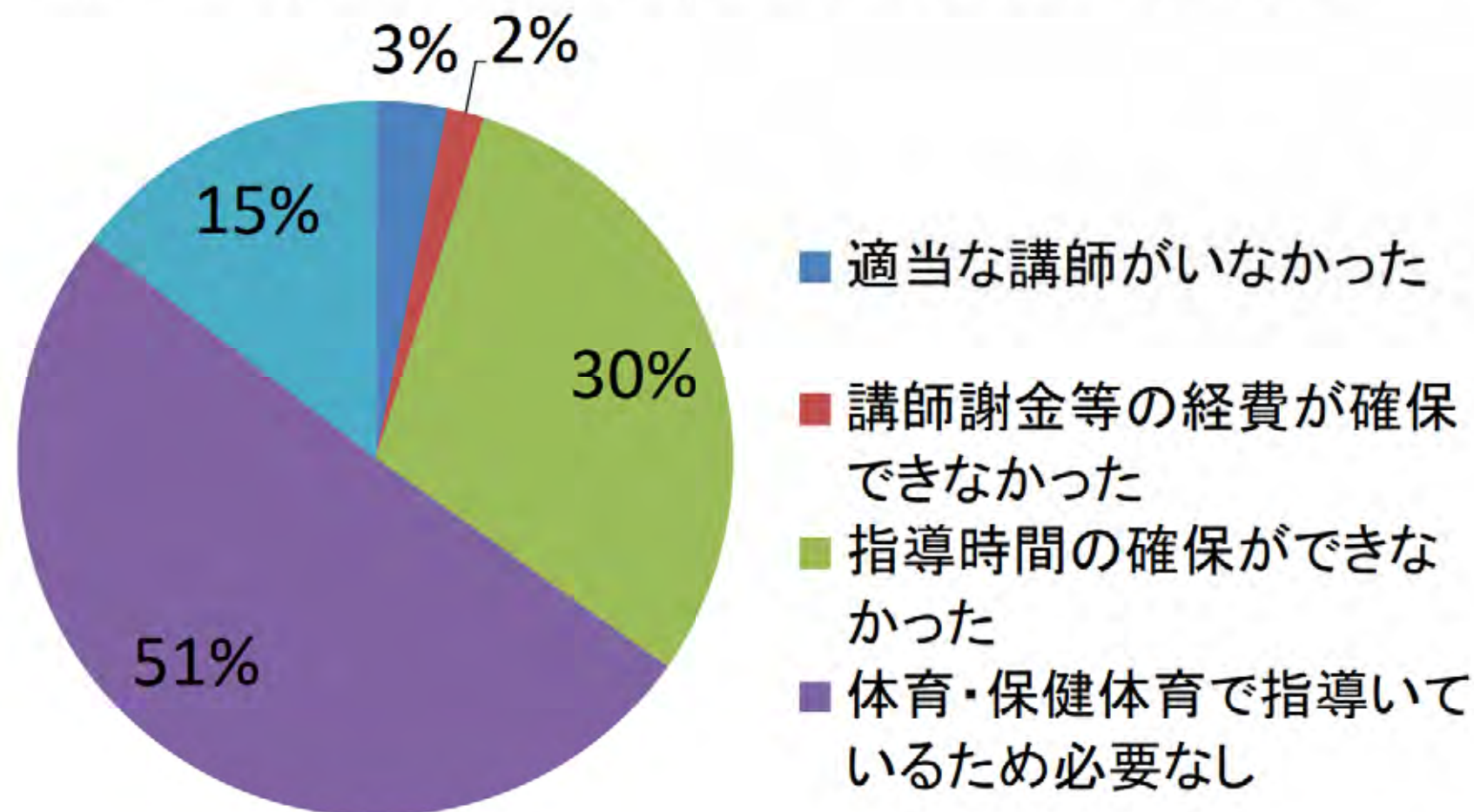


薬物乱用防止教室を開催しなかった理由 (中学校、高等学校、中等教育学校)



「薬物乱用防止教室推進マニュアル」(平成24年2月) に記載された府県の平成26年度薬物乱用防止教室 実施状況

	中高 合計	公立 中高	国立 中高	私立 中高	私立学校への 対応記載
山形県	86.9	88.3	-	73.3	×
茨城県	93.7	99.1	33.3	56.8	×
埼玉県	95.3	100.0	100.0	61.0	×
石川県	97.9	100.0	100.0	72.7	×
静岡県	99.3	99.7	100.0	97.1	○
大阪府	97.1	99.7	66.7	88.1	○
山口県	100.0	100.0	100.0	100.0	○
徳島県	95.0	98.3	100.0	20.0	×
長崎県	97.3	100.0	100.0	78.1	×
熊本県	91.3	100.0	-	40.0	×

数値：薬物乱用防止教室実施率(%)

3. 薬物乱用防止教育関連予算

(21,540千円)
平成27年度予算額 22,146千円

①大学生等に対する薬物乱用防止啓発資料の作成【21年度～】

大学等の学生に対する薬物乱用防止のため、大学等に対し入学時のガイダンスの活用を促し、その際に活用できる啓発資料を作成する。

【配布先】新入学生用として、大学、短期大学、専門学校等へ配布
【配布部数】140万部(新入学生相当数)

④啓発活動の推進【11年～】

高校生からポスター・映像を募集し、優秀作品をポスターとして配布、高校野球、Jリーグ等の大型ディスプレイで放映する。

②薬物乱用防止教室推進のための講習会の実施【11年度～】

中学校・高等学校における「薬物乱用防止教室」の推進を図るため、外部指導者を養成する講習会を開催する。

【実施方法】都道府県教育委員会で実施

(参考)児童生徒の心と体を守るための啓発教材の作成【17年度～】

児童生徒が自らの心と体を守ることができるようにするため、喫煙、飲酒、薬物乱用などの問題について、総合的に解説する啓発教材を作成し配布する。

【配布先】全ての小学校5年生、中学校1年生、高校1年生等へ配布
【配布部数】小学校136万部 中学校135万部 高校132万部

③シンポジウムの開催【11年度～】

教職員等を対象とした薬物乱用防止教育を推進するためのシンポジウムを開催する。

【実施方法】全国1ヶ所で実施

